



## 2020年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年7月31日

上場会社名 前澤化成工業株式会社  
 コード番号 7925 URL <http://www.maezawa-k.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 窪田 政弘

問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼上席執行役員管理本部長 (氏名) 伊東 正博

TEL 03-5962-0711

四半期報告書提出予定日 2019年8月9日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年3月期第1四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	5,416	3.6	95	24.0	170	10.9	102	2.9
2019年3月期第1四半期	5,230	1.2	77	403.0	153	60.7	99	95.4

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 88百万円 ( 38.4%) 2019年3月期第1四半期 143百万円 ( 8.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	6.84	
2019年3月期第1四半期	6.64	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第1四半期	43,722	36,398	83.2
2019年3月期	44,063	36,608	83.1

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 36,398百万円 2019年3月期 36,608百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		15.00		18.00	33.00
2020年3月期					
2020年3月期(予想)		15.00		15.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	11,450	6.1	320	7.0	430	2.5	280	0.9	18.72
通期	23,150	4.1	740	0.8	950	2.7	590	10.9	39.45

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- |                    |     |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更         | : 無 |
| 会計上の見積りの変更         | : 無 |
| 修正再表示              | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期1Q	15,732,000 株	2019年3月期	15,732,000 株
期末自己株式数	2020年3月期1Q	802,849 株	2019年3月期	778,349 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期1Q	14,949,551 株	2019年3月期1Q	14,953,691 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.2「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用環境の改善などを背景に景気は緩やかな回復基調であった一方で、世界経済においては、米中貿易摩擦の長期化や中国経済の減速など、先行きが不透明な状況が継続しております。

当社グループと関連の深い上水道・下水道業界及び住宅機器関連業界においては、新設住宅着工戸数が金融機関の融資厳格化や賃貸住宅の空室リスクへの懸念などにより、減少傾向にあるなど厳しい事業環境にあります。

当社グループはこのような状況の中、中期経営計画「TakeAction2020」の2年目がスタートし、各施策への取り組みと、既存事業の事業領域の拡大に向けてグループ全体で邁進しております。

当社グループの当第1四半期連結累計期間における業績につきましては、ビル設備分野製品である「ビニコア」や都市型水害対策製品である「雨水貯留浸透槽」などについて、重点的に拡販に取り組んだ結果、売上高は54億100百万円(前年同期比3.6%増)となりました。利益につきましては、運送費の高騰に伴い製品の物流費が増加しましたが、売上高の増加により営業利益95百万円(同24.0%増)、経常利益1億70百万円(同10.9%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益1億2百万円(同2.9%増)となりました。

各セグメントの業績は、以下のとおりであります。

#### ①管工機材分野

管工機材分野につきましては、同業者との競合激化や運送費の高騰など、事業環境は引き続き厳しい状況ではありますが、戸建住宅を対象とした製品の他にビル設備向けの製品の拡充を進め、積極的な拡販を行った他、原価低減に努めた結果、前年同期の業績を上回りました。

以上により、当第1四半期連結累計期間における売上高は47億85百万円(前年同期比1.5%増)、セグメント利益は1億14百万円(同18.5%増)となりました。

#### ②水処理分野

水処理分野につきましては、多様な水処理システムの積極的な提案活動を行い、食品関係を中心とした工事及びメンテナンス業務の受注獲得を図ってまいりました。また、前年度に受注した大型案件の工事が順調に進捗したことに伴い、売上高は大きく増加する結果となった一方で、利益につきましては、前年同期と概ね同水準となりました。

以上により、当第1四半期連結累計期間における売上高は1億30百万円(前年同期比55.1%増)、セグメント損失は30百万円(前期同期は、32百万円のセグメント損失)となりました。

#### ③各種プラスチック成形分野

各種プラスチック成形分野につきましては、既存顧客、新規顧客からの受注が好調であったことから、売上高は大きく増加する結果となった一方で、利益につきましては、前年同期と概ね同水準となりました。

以上により、当第1四半期連結累計期間における売上高は5億74百万円(前年同期比9.2%増)、セグメント利益は11百万円(同7.9%減)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の資産は、前連結会計年度末と比べ3億41百万円減少し、437億22百万円となりました。これは主として、受取手形及び売掛金や、有形固定資産が減少したこと等によるものであります。

負債は、前連結会計年度末と比べ1億31百万円減少し、73億24百万円となりました。これは主として、未払法人税等や賞与引当金、その他に含まれている未払金が減少したものの、その他に含まれている未払費用が増加したこと等によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末と比べ2億9百万円減少し、363億98百万円となりました。これは主として、利益剰余金が減少したことや、自己株式が増加したこと等によるものであります。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年5月13日に公表いたしました連結業績予想の現時点における修正はございません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	10,497	10,355
受取手形及び売掛金	5,937	5,731
電子記録債権	3,041	2,908
有価証券	1,500	1,500
商品及び製品	2,034	2,047
仕掛品	596	650
原材料及び貯蔵品	448	519
その他	611	821
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	24,667	24,534
<b>固定資産</b>		
<b>有形固定資産</b>		
建物及び構築物	13,070	13,075
減価償却累計額及び減損損失累計額	△6,664	△6,766
建物及び構築物(純額)	6,405	6,308
機械装置及び運搬具	12,326	12,351
減価償却累計額及び減損損失累計額	△10,774	△10,847
機械装置及び運搬具(純額)	1,552	1,503
工具、器具及び備品	18,092	18,149
減価償却累計額及び減損損失累計額	△17,757	△17,828
工具、器具及び備品(純額)	334	321
土地	4,544	4,544
建設仮勘定	137	63
有形固定資産合計	12,973	12,741
<b>無形固定資産</b>		
ソフトウェア	205	227
その他	2	8
無形固定資産合計	208	235
<b>投資その他の資産</b>		
投資有価証券	5,699	5,670
繰延税金資産	22	58
その他	641	631
貸倒引当金	△149	△149
投資その他の資産合計	6,214	6,211
固定資産合計	19,396	19,188
資産合計	44,063	43,722

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,535	3,550
電子記録債務	162	158
リース債務	—	1
短期借入金	450	450
未払法人税等	244	142
賞与引当金	395	215
役員賞与引当金	18	4
その他	1,938	2,130
流動負債合計	6,745	6,653
固定負債		
リース債務	—	4
繰延税金負債	37	—
役員株式給付引当金	9	12
退職給付に係る負債	393	384
資産除去債務	216	216
その他	52	53
固定負債合計	710	670
負債合計	7,455	7,324
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	3,387	3,387
資本剰余金	6,363	6,363
利益剰余金	26,670	26,501
自己株式	△895	△922
株主資本合計	35,525	35,329
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,252	1,231
退職給付に係る調整累計額	△169	△162
その他の包括利益累計額合計	1,083	1,068
純資産合計	36,608	36,398
負債純資産合計	44,063	43,722

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
売上高	5,230	5,416
売上原価	3,646	3,775
売上総利益	1,583	1,640
販売費及び一般管理費	1,506	1,544
営業利益	77	95
営業外収益		
受取利息	1	1
受取配当金	38	40
受取賃貸料	22	22
貸倒引当金戻入額	0	—
その他	18	14
営業外収益合計	81	79
営業外費用		
支払利息	0	0
支払手数料	1	—
賃貸費用	2	2
自己株式取得費用	—	1
為替差損	—	1
その他	0	0
営業外費用合計	4	5
経常利益	153	170
特別利益		
特別利益合計	—	—
特別損失		
固定資産除却損	0	0
減損損失	—	14
特別損失合計	0	14
税金等調整前四半期純利益	152	155
法人税、住民税及び事業税	125	120
法人税等調整額	△72	△67
法人税等合計	53	53
四半期純利益	99	102
親会社株主に帰属する四半期純利益	99	102

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
四半期純利益	99	102
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	34	△21
退職給付に係る調整額	9	7
その他の包括利益合計	43	△14
四半期包括利益	143	88
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	143	88



(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(取締役に対する業績連動型株式報酬制度)

当社は、2017年6月27日開催の第63回定時株主総会決議に基づき、取締役（社外取締役を除きます。以下同じ。）を対象とする業績連動型株式報酬制度（以下、「本制度」といいます。）を導入しております。

本制度は、当社の業績及び株式価値と取締役の報酬との連動性をより明確にし、取締役が株価上昇によるメリットを享受するのみならず株価下落リスクをも負担し、株価の変動による利益・リスクを株主の皆様と共有することで、中長期的な業績の向上と企業価値の増大に貢献する意識を高めることを目的としております。

①取引の概要

本制度は、当社が金銭を拠出することにより設定する信託（以下「本信託」といいます。）が当社株式を取得し、業績達成度等一定の基準に応じて当社が各取締役に付与するポイントの数に相当する一定数の当社株式が本信託を通じて各取締役に對して交付されるという、業績連動型の株式報酬制度です。なお、取締役が当社株式の交付を受ける時期は、原則として取締役の退任時です。

②信託に残存する自社の株式

信託に残存する当社株式を、信託における帳簿価額（付随費用の金額を除く。）により、純資産の部に自己株式として計上しております。前連結会計年度の当該自己株式の帳簿価額及び株式数は、1億44百万円、117,400株、当第1四半期連結会計期間の当該自己株式の帳簿価額及び株式数は、1億44百万円、117,400株であります。

③総額法の適用により計上された借入金の帳簿価額

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	管工機材分野	水処理分野	各種 プラスチック 成形分野	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書計上額 (注) 2
売上高						
外部顧客への売上高	4,712	84	433	5,230	—	5,230
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	92	92	△92	—
計	4,712	84	525	5,322	△92	5,230
セグメント利益又は 損失(△)	96	△32	12	77	0	77

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去によるものであります。

2. セグメント利益又は損失(△)は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	管工機材分野	水処理分野	各種 プラスチック 成形分野	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書計上額 (注) 2
売上高						
外部顧客への売上高	4,785	130	500	5,416	—	5,416
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	73	73	△73	—
計	4,785	130	574	5,489	△73	5,416
セグメント利益又は 損失(△)	114	△30	11	95	0	95

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去によるものであります。

2. セグメント利益又は損失(△)は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(単位:百万円)

	管工機材分野	水処理分野	各種プラスチック 成形分野	全社・消去	合計
減損損失	—	14	—	—	14